

## 会 告 (IV)

### 第3回材料試験連合講演会講演募集

日本学術会議材料試験研究連絡委員会および日本鉄鋼協会外 15 学協会共催

日 時 昭和 34 年 9 月 15 日 (火) 16 日 (水)

会 場 日本学術会議講堂

- 講演申込 (a) 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込むこと。  
 (b) 講演内容は発表されたものでさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。  
 (c) 講演時間は約 20 分 (討論を含む)  
 (d) 講演の採択などは材料試験連合講演会運営委員会に一任されたい。  
 (e) 申込用紙 (B5 版) 記載事項  
     a. 講演題目。 b. 梗概約 200 字。 c. 講演部門名。 d. 講演ならびに連名者の各氏名、勤務先、  
       通信先、学会員資格、年令 (連名の場合には登壇者に○印をつけること)  
     e. 講演題目、氏名、勤務先には英文を付記すること。  
     f. スライド使用の有無 (大きさは 35 mm)  
     g. 欧文論文 (付記参照) へ投稿希望の有無。

注: 第1部 金属材料

第2部 非金属材料 (有機物、無機物)

第3部 一般 (材料試験機その他)

申込締切 昭和 34 年 6 月 15 日 (所属学会必着)

講演前刷 聽講者のテキストとし、あわせて講演時間の短縮、掛図などの節約のため、講演者全部の講演前刷を作るので、講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ提出されたい。

(a) 講演前刷原稿提出期日: 7 月 20 日

(b) 前刷原稿は規定の原稿用紙 2 枚以内 (図表、写真を含めて邦文で約 2600 字) に明瞭に墨書きし、なるべく余白を避けるよう留意のこと。原稿用紙は講演申込者に所属学会から送る。

### 日本鉄鋼協会東海支部講演会・見学会について

本会東海支部、日本金属学会東海支部と共に講演会並びに見学会を開催致しますから、多数御参加下さいますよう御案内申上げます。

記

#### 1. 講 演 会

日 時 5 月 10 日 (日) 9 時

場 所 名古屋大学工学部 (名古屋市千種区不老町)  
 プログラム (次ページの通り)

#### 2. 見 学 会

日 時 5 月 11 日 (月) 9 時 30 分 (9 時 20 分迄に栄町テレビ塔下に集合バスにて出発)

見学工場 興和光器製作所 (蒲郡) 同業者の見学はお遠慮願います。

定 員 50 名 (定員超過の場合は抽せんによりお断りすることがあります)

申込要領 5 月 1 日までに所属、職名、氏名を明記の上見学費 金 300 円 (バス並びに昼食代) を添えて当支部宛申込んで下さい。

## 日本 金属学会 鉄鋼協会 東海支部講演会プログラム

番号	時 間 前	題 目	勤務先	名	
				君	君
1	9・00～9・15	超小型真空アーク（消耗・非消耗・電極）溶解法の研究（幻）	名古屋大学工学部	三記夫雄	君
2	9・20～9・35	Injection Casting による小型試料の製作（幻）	名古屋大学工学部	修直義郎	君
3	9・40～9・55	ベリリウムの製鍊	名古屋大学工学部	夏文堺	君
4	10・00～10・15	高珪酸軟質ノズルの熱間粘性におよぼす金属酸化物の影響について	東海炉材	修直	君
5	10・20～10・30	モリブデン織条の内部摩擦	岐阜大学工学部	夫	君
6	10・35～10・50	自動車用弁バネのへたりについて	名古屋工業大学	三記	君
7	10・55～11・10	チタン用鋳型の研究（第1報） 黒鉛鋳型（幻）	名・工・試	夫	君
8	11・15～11・30	ガス浸炭窒化における炉内圧力と接触する鋼中のACN量について	山陽特殊製鋼	夏	君
9	11・35～11・50	炭素ポテンシャルの直接測定によるガス浸炭の管理について	トヨタ自動車	八	君
10	11・55～12・10	黄銅の応力腐蝕性におよぼす焼鈍の影響について（幻）	トヨタ自動車	二	君
		昼 食 休 憩	住友金属伸銅所	衛	君
11	午 後 1・00～1・15	銅合金の高温高圧水による腐蝕の研究（第1報）（幻）	住友金属伸銅所	猛	君
12	1・20～1・35	アルミニウムおよびその合金の軟化半硬材に認められる特異現象（軟化半硬材の加工による軟化現象について）（幻）	住友金属伸銅所	昭	君
13	1・40～1・55	合金鋳鉄の変態特性におよぼすガス成分の影響について	静岡工業試験場	平	君
14	2・00～2・15	焼入れに鋼のマイクロ・クリープ	東洋ペアリング	勲	君
15	2・20～2・35	Ti-Al-Mn 系合金の研究（幻）	住友金属伸銅所	四	君
16	2・40～2・55	天然ウランの熔解と加工に関する工業化研究（第2報）（幻）	住友金属伸銅所	隆	君
17	3・00～3・15	カントメーターによる非鉄金属の工業分析（3）アルミニウム合金の定量分析について	住友金属伸銅所	新	君
18	3・20～3・35	加熱途上におけるオーステナイト結晶粒とAlN（オーステナイト結晶粒度とAlNとの関係—V）	住友金属伸銅所	雄	君
19	3・40～3・55	走査電子顕微鏡について（幻）	大同製鋼	剛	君
20	4・00～4・15	ニッケル節約ステンレス鋼について（幻）	大同製鋼	志	君
21	4・20～4・35	炭素肌焼鋼の熱処理と芯却の機械的性質について	名古屋工業研究所	江	君
22	4・40～4・55	Fe-O-H 系および Fe-C-O 系の平衡関係ならびに鉄の酸素溶解度に関する検討	名古屋大学工学部	口	君
23	5・00～5・15	硫酸焼鉱の流動化塩化焙焼による脱銅について	名古屋大学工学部	荒	君
24	5・20～5・35	渗炭窒化に関する基礎的研究（幻）	名古屋大学工学部	齊	君
25	5・40～5・55	二、三の蒸着金属薄膜の性質について	愛知学芸大学	佐	君